

製品名	亜硫酸ガス	国連番号	1079
化学名	亜硫酸ガス	SAMPLE	

該当法法規対応・危険有害性												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		道路法	
類 別						品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 ガ ス 圧 ス	液 化 石 ガ 油 ス	施行令 第19条 の12、13
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類							
										●		●
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状		
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性
				常 温	可 燃 時 火 災 時	水 に 接 触						
				●			●	●		●		

**事故発生時の応急処置**

- ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ ゴム手袋、ゴム長靴、防毒衣、陽圧自給式空気呼吸器を着用し、漏れ止め・除外活動を行う。漏れ止め・除害活動を行う。
- ④ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

**緊急通報**

119 (消防署) ・ 110 (警察署) ・ 高速道路の非常電話

{緊急通報例}

1. いつ            ○○時○○分頃
2. どこで        ○○市○○地区 (国、県、市) 道○○号線○○付近で
3. なにが        『亜硫酸ガス (二酸化いおう) (高圧ガス、毒性)』 が
4. どうした      漏れています。/漏れて火災になっています。
5. ケガ人は      ケガ人がいます。(救急車をお願いします) /けが人はいません。
6. 私の名前は   ○○運送会社   ○○です。

**緊急連絡**

荷送会社	
住 所	
電 話	平日・昼間
	休日・夜間

運送会社	
住 所	
電 話	平日・昼間
	休日・夜間

製品名	亜硫酸ガス	国連番号	1079
化学名	亜硫酸ガス	SAMPLE	

## 災害拡大防止措置

### <漏えいしたとき>

- ① 有毒ガスであるから、必ず保護具を着用して、風上で作業する。
- ② 止め弁及び安全弁よりの漏れは防災キャップを取り付ける。
- ③ 漏えい箇所や漏れいたしたガスに遠くから霧状の水をかけて吸収させる。容器へ水を直接かけることは、容器内の液化ガスの気化を促進することにもなるので、状況を判断しながら行う。
- ④ 吸収させた水は直背何時河川、用水路へはながさない。

### <周辺火災のとき>

- ① 容器をすぐ安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器の外面を水にて冷却し、容器温度上昇を防止する。

### <救急処置>

- ① 目に入った場合は、直ちに石鹼と多量の水で15分以上洗い流す。
- ② 皮膚に触れた場合は、直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。  
汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。
- ③ 吸入した場合は、直ちに患部を毛布にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。  
呼吸が停止している時は人工呼吸を行う。呼吸困難の時は酸素吸入を行う。
- ④ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。

### 特記事項

- ① 亜硫酸ガスは毒性が高く、目及び気道を強く刺激し、液体に接触すると火傷を負う。
- ② ゴム手袋、ゴム長靴、防毒衣、亜硫酸ガス用隔離式防毒マスク又は空気呼吸器等の保護具を着用し、漏れ止め、除害活動を行う。
- ③ 不燃性で、それ自体は発火したり爆発を起こすことはないが、他の物質との接触や混合によって起こる化学変化で発火や爆発をおこすことがある。
- ③ 容器内充圧力
  - : 20℃で0.23MPa (2.9kg/cm<sup>2</sup>) [ゲージ圧力]
  - : 40℃で0.54MPa (5.5kg/cm<sup>2</sup>) [ゲージ圧力]
- 許容濃度 : 2ppm
- 相対密度(ガス比重) : 2.26(空気を1とする。空気よりかなり重い)
- 沸点 : -100℃
- 液密度 : 1.40kg/L(15℃)
- 色・臭い : 無色・刺激臭
- 容器外面の塗色 : ねずみ色